

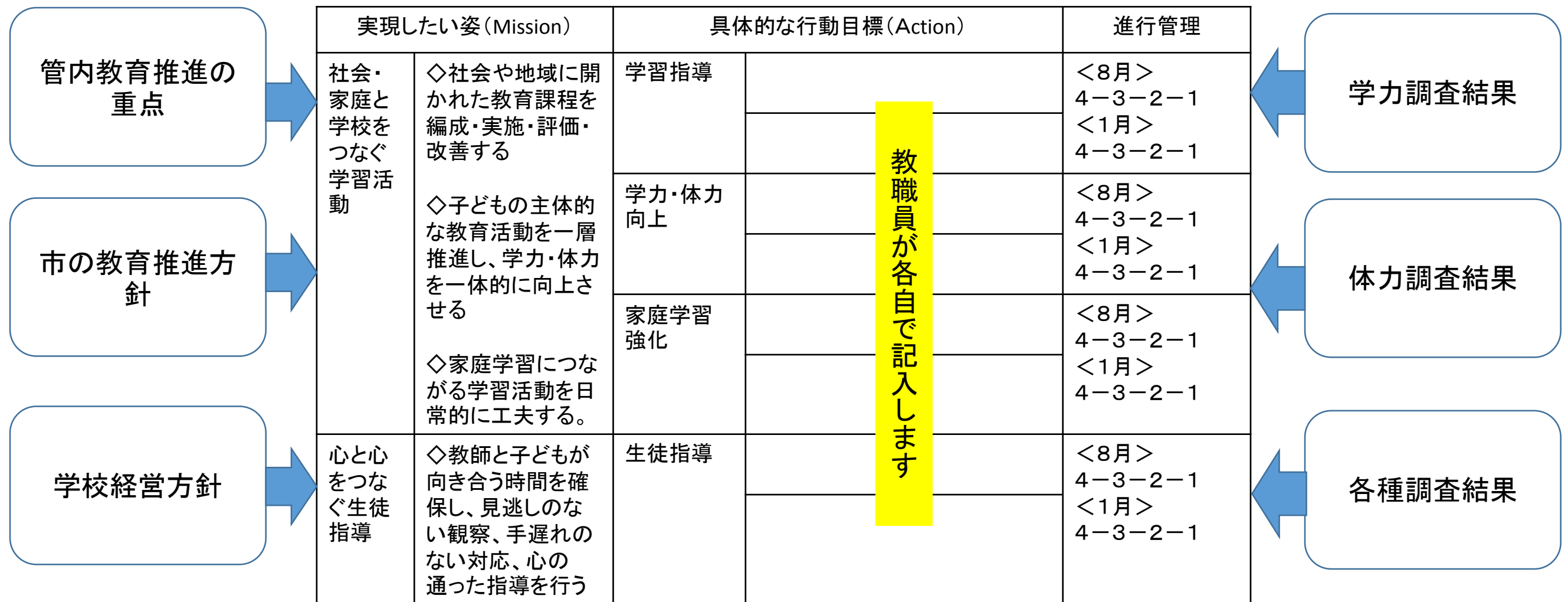
道内の市町村、学校、家庭や地域の取組事例 <学校経営>

<取組のキーワード>

- ・ 教職員の参画意識の向上
- ・ 進捗状況の可視化

【学校経営ビジョンの提示】

目指す子ども像～「考える子」「きたえる子」「思いやりのある子」「やりぬく子」
Vision～「未来につながる資質・能力」をはぐくむ教育・学校の創造



<ポイント>

- ・ 管内教育推進の重点等を踏まえて、学校経営を「vision」「mission」「action」の3段階で具体化し、「action」は教職員が各自で設定し取り組んでいます。
- ・ 年2回、達成状況を4段階で評価するとともに、学校全体で確認することにより、エビデンスに基づいた学校経営を進めています。

道内の市町村、学校、家庭や地域の取組事例 <学校経営>

<取組のキーワード>

- ・ 徹底した現状分析
- ・ 明確な経営方針と情報発信
- ・ 目指す子ども像を踏まえた学年目標

【校長の経営方針に基づく取組】

◆現状把握

- ・ 「子どもの事実から出発」をあらゆる基本とし、校長自らが全国学力・学習状況調査、新体力テスト、生活アンケート等を徹底的に分析し、経営方針を決定。

◆明確な経営方針、情報発信

- ・ 毎月の職員会議で校長から経営方針に基づいた具体的な改善策についてポイントを説明。
- ・ 経営方針に基づく実践を全教職員がイメージできるように、写真などで可視化して提示。

◆目指す子ども像を踏まえた学年目標

※網掛けは今年度の重点的な取組事項

	指導指標	要素		具体的な学年目標	評価	前回
かしこく	自ら学び、習得した知識・技能を活用して課題解決に取り組む子どもを育てる	思考力	低	先生や友達の話をしっかり聞き、自分の考えをもつことができる		
			中	学んだことをもとに自分で考え解決することができる		
			高	学んだことを活用し、新たな課題を解決することができる		
やさしく	物事を素直に受け止め、周りのことを考えて行動する子どもを育てる	礼儀	低	明るく元気にあいさつができる		
			中	気持ちのよい挨拶、言葉遣いを心がけて人と接することができる		
			高	時と場をわきまえて、礼儀正しく接することができる		
つよく	責任を果たし、最後まで根気よくやり抜く子どもを育てる	勤労	低	係や当番活動の大切さを知り、みんなのために働くことができる		
			中	働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くことができる		

<ポイント>

- ・ 校長が明確な経営方針を示すとともに、学校の教育目標に関わる指導指標に基づき、具体的な学年目標を設定することにより、経営方針の浸透を図っています。
- ・ 具体的な目標の評価に基づき、すぐに改善策を提示し、実行することを徹底しています。

道内の市町村、学校、家庭や地域の取組事例 <学校経営>

<取組のキーワード>

- ・ 分析結果を踏まえた目標の重点化
- ・ 検証可能な目標設定
- ・ 取組のスケジュールの明確化

【学力向上推進プランの策定】

		実態把握の方法	分析結果	検証時期	修正・改善内容				
現況		<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査 ・標準学力調査 ・授業アンケート調査 ・学校評価 	<ul style="list-style-type: none"> ○国語では、言語活用領域の正答率が低めで、高学年で目標値を下回る。 ○算数では、量と測定、数量関係に課題があり、高学年で目標値を下回る。 ○児童アンケートで「授業がよくわかる」の項目で肯定的な回答が9割である。 						
到達目標		学力・学習	<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力・学習状況調査、CRTで全国平均以上を目指す。 ○単元テスト、チャレンジテストの正答率8割以上を目指す。 	各種テスト(随時)					
		生活	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習目標時間到達児童8割以上、家庭での読書時間10分以上の児童7割以上を目指す。 ○TV、DVD等の視聴時間3時間以上の児童を0にする。 	生活リズム振り返り(7、12、2月)					
具体的な目標と方策				スケジュール					
項目	取組の具体	目標値と検証方法	1月	2月	3月	4月	5月	6月	3月
基礎・基本の定着	<ul style="list-style-type: none"> ○学力調査等から明らかになった課題を踏まえ、教育課程を改善する。(重点指導単元の設定等) ○チャレンジテストを活用し、課題領域を繰り返し指導 ○指導内容に応じた学習過程の具体化、統一した取組 	<ul style="list-style-type: none"> □学力調査、CRTで全国平均以上 □単元テスト、チャレンジテストの正答率8割以上 □職員自己評価で当該項目の肯定的な回答100% 		標準学力検査の自己採点	自己採点結果を踏まえた指導	全国学力・学習状況調査自己採点	調査結果を踏まえた重点の設定		
学習規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○ノート指導の統一 ○定着するまで繰り返し指導 	<ul style="list-style-type: none"> □職員自己評価で当該項目の肯定的な回答100% □児童アンケートで肯定的な回答8割以上 		指導内容検討	指定ノートの家庭への周知	ノートの使い方指導			児童アンケート

<ポイント>

- ・ 年度の反省を生かした取組が可能となるよう、スケジュールを1月から記載し、改善サイクルを確立しています。
- ・ 学力向上の取組が一目で分かるよう、目標、検証方法等を示しています。

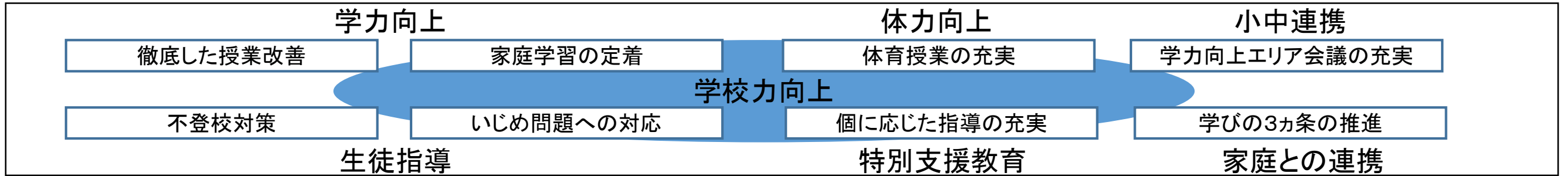
道内の市町村、学校、家庭や地域の取組事例 <学校経営>

<取組のキーワード>

- ・ 明確なビジョンの提示
- ・ PDCAサイクルの確立

【学校改善プランの策定】

今年度の重点的取組事項



月	重点的取組事項	学力向上	生徒指導	体力向上	家庭との連携	小中連携
4月	実態把握 計画	◆徹底した授業改善 ・焦点化、視覚化 ◆家庭学習の定着 ・「学年×10分+10分」の実施率 80%以上	◆不登校対策 ・「ほっと」の活用 ◆いじめ問題への対応 ・アンケート、個人面談の実施	◆体育授業の充実 ・運動プログラムを取り入れた授業 ・体力手帳の活用	・〇〇市学びの3カ条の推進 ・子育て研修会 ・メディア利用の縮小 ・生活習慣の確立	◆学力向上エリア会議の充実 ・共通研修課題の設定 ・授業実践交流
5月		・家庭学習時間調査① ・授業研②「算数の授業展開の共通理解」 ・学習、生活アンケート	・コミュニケーション能力の把握 ① ・なやみごとアンケート①、面談	・新体力テスト実施研修会	・家庭学習の啓発(学級通信・懇談等) ・メディア利用アンケート	・学校経営計画の交流
6月	実行	・家庭学習の手引の改訂 ・授業研③「指導計画の改善」	・学級づくり(自己有用感を高める指導)	・体育の授業改善(夕方研修)		・学力の状況の交流
7月	評価	・授業研④「個に応じた指導」 ・研究所研修講座への参加	・いじめゼロ子どもサミットを参考にした取組	・新体力テスト① ・体力づくり(縄跳び)	・生活リズム指導	・共通研修課題の設定
8月		・全国学力・学習状況調査結果の分析及び改善策の検討	・道徳の授業研修(仲間とのかかわり)			

<ポイント>

- ・ 重点に関する取組事項を具体的に示し、「いつ」「何を」するのかを明確にしています。
- ・ 各種調査やアンケートを用いて、短期的に取組状況を把握し、改善につなげています。

<取組のキーワード>

- ・ 目標の共有
- ・ 目指す子ども像や具体的な指導の可視化

【教職員への説明資料】

授業できたえる→学校生活の8割は授業

- ・ 1時間の中で「読む場面」「ノートに自分の考えや板書を書く場面」「教師や友達の話を聞く場面」「発表や話し合う場面」を使い分け、明確な指示で「今やるべきこと」を全員にはっきり示す。
- ・ 教材研究を十分に行い、教師自身が教える楽しさを味わう。
- ・ 「集中・反応・けじめ」を求め、常に学習規律の定着状況をフィードバックしていく。集中した授業こそ心地よいものだと実感させる。



「子どもは大人の言うようにはならないが、大人のようになる。」立腰の姿勢もまずは私たち大人から。

全校で火・水・木に行っている朝読書の風景。一番のポイントは、教師も一緒に読書すること。全校体制で。



〇〇小学校が目指している教育

担任が替わっても0から始まらないとは？

- 全学年で共通・一貫・継続した取組の上に担任の持ち味を生かした指導がある。
- 全学年統一した取組とは
 - ・ 学習規律(特に、授業前の準備等)
 - ・ 研修部提案の指導過程、板書、ノート
 - 「課題」と「まとめ」のある授業
 - ・ 家庭学習チャレンジカードの取組

〇〇小学校が目指している教育

全学級における学習規律・生活規律の徹底



落ち着いた学校、質の高い日常の授業展開



全学級で教育の機会均等、教育水準の確保

「課題」と正対した「まとめ」を目指す

「わかったのか」「できたのか」が確認でき、学ぶ目的がもてる課題設定を。

(算数の課題とまとめの例)
5年 課「平行四辺形の面積の求め方を考えよう」
ま「平行四辺形の面積は、長方形に変形すると求めることができる」

※適応問題もできて子どもの自己肯定感UP!

<ポイント>

- ・ 学校全体で取り組むべきことについて一目で分かる資料を作成し教職員と目標を共有しています。
- ・ 写真や具体例を用いて具体的な指導をイメージできるようにしています。

道内の市町村、学校、家庭や地域の取組事例 <学校経営>

<取組のキーワード>

- ・ 保護者や地域への分かりやすい発信
- ・ 目標を数値等で可視化

【保護者への説明資料】

●●小学校 学校教育計画

【教育目標】

【重点教育目標】

- 深く考える子ども
- 明るく思いやりのある子ども
- 丈夫でたくましい子ども
- 「わかる・できる・楽しいが実感できる子ども」

わかりやすい授業を目指します。

- 授業改善
- ノート指導
- 授業チェックリスト
- 個に応じた指導の充実を図ります
- TT学習
- 少人数指導(グループ別学習)
- テスト・調査の分析
- 学習内容を確実に定着させます
- 朝学習
- 放課後サポート学習
- 家庭学習
- 読書に親しませます
- 読む読むモーニング
- すき間読書
- 読書大賞

『知』
学習内容がわかる
問題を解くことができる
学習が楽しい

★★★めやす★★★

- ・児童アンケートで「勉強がよく分かる」の回答 →80%以上
- ・全国学力・学習状況調査平均正答率 →75%以上
- ・チャレンジテスト平均正答率 →80%以上
- ・読書の冊数の自己目標を設定させ、期間内に達成

自分から進んであいさつする子を育てます

- プラス1あいさつ
- いじめ問題解決100%
- 全教職員による見取り・気付き
- いじめ調査
- 楽しく通える学校を目指します
- 対話の充実
- 児童・保護者アンケートによる実態把握

『徳』
相手の気持ちがわかる
やさしい行動ができる
学校生活が楽しい

★★★めやす★★★

- ・保護者アンケートの挨拶の項目の評価向上
- ・いじめ問題解決 →100%
- ・児童アンケートの「学校が楽しい」の回答 →90%以上

なわとびを通して、体力の向上を図ります

- チャレンジなわとび(とべとべモーニング など)
- 自分や友達の命、心、体を大切にする気持ちを育てます
- 「きらり☆いのち」学習
- 道徳の授業

『体』
健康や安全の大切さがわかる
健康や安全を守ることができる
運動が楽しい

★★★めやす★★★

- ・3分間持久縄跳び記録会
目標値 3年:340回 4年:360回
5年:380回 6年:400回
- ・児童アンケートの「運動が楽しい」の回答 →90%以上

<ポイント>

- ・ 年度の重点教育目標や具体的な取組、達成のめやすを1枚にまとめ、4月に保護者に提示しています。
- ・ 年度初めに示した計画を基に保護者アンケートを実施し、学校の取組に対する保護者の理解を得ています。

<取組のキーワード>

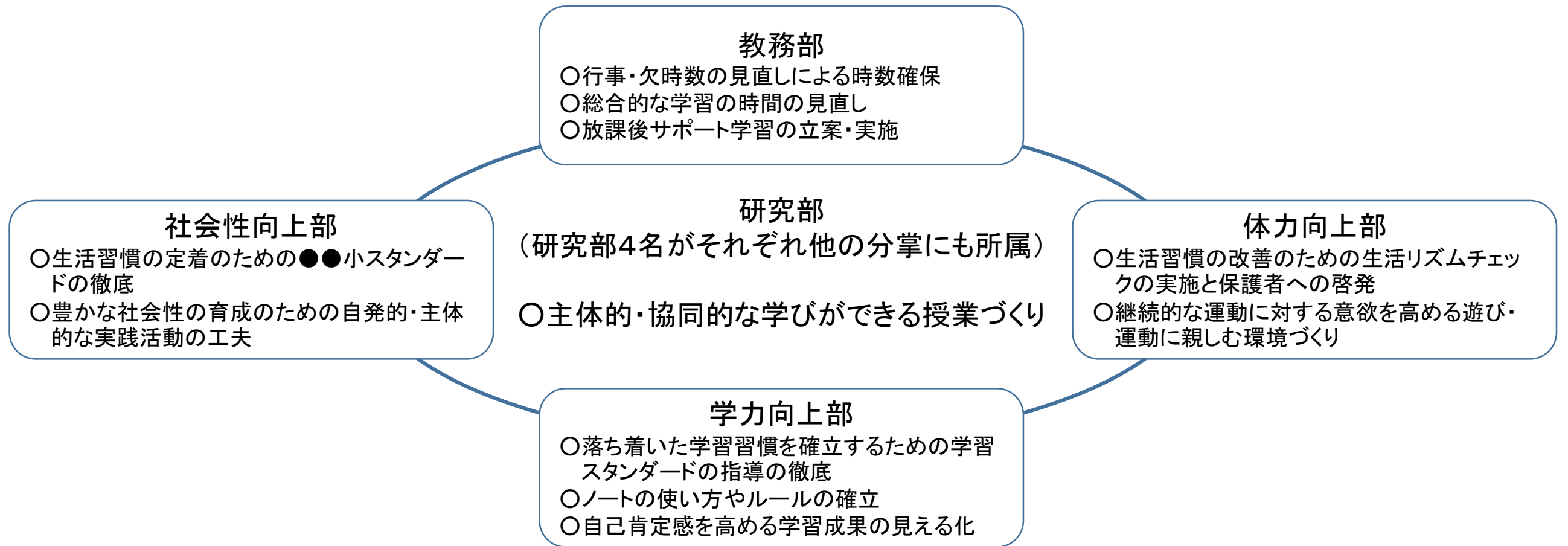
- ・ 重点と分掌業務の関連の明確化

【小学校の分掌組織】

◆重点目標

- ・ 学び合い高め合う子どもの育成（笑顔、学び合い、習慣）

◆重点目標の具現化に向けた各分掌の重点実践事項



<ポイント>

- ・ 重点目標を具現化するために、各分掌が重点的に取り組むことを明確に示しています。
- ・ 研究部が1名ずつ他の分掌にも所属し、各部の取組が関連するようにコーディネートしています。

道内の市町村、学校、家庭や地域の取組事例 <学校経営>

<取組のキーワード>

- ・分掌事務のロードマップ化によるマネジメント力の育成

【中学校（教務部）の重点目標マネジメントシート】

中期目標	月	重点目標(2点抜粋)及び実践項目		期待したい成果	短期成果	短期課題と改善方策	中期成果	中期課題と改善の方策
		重点目標						
学習規律の徹底・生徒自らが思考する授業	4月	自分の考えを公表できる生徒 学習規律の徹底 学習形態の工夫 研究主題の理解	自ら解決できる生徒 放課後学習タイム 校内研修(課題設定の工夫)	学習規律の徹底 学習方法の周知	学習オリエンテーションでの説明を受けて各学年とも規律ある授業となりつつある	家庭学習の習慣化にばらつきがみられる 学習方法を「手引」として配付するとともに、目につく場所に掲示し意識させる	家庭学習の習慣は身に付いている (生徒アンケート結果) 1人1授業で授業改善を全校で進めることができた	家庭学習の方法について生徒の満足度が低いので、宿題の出し方を工夫する 2学期は「自分の考えを公表できる生徒の育成」を重点とする
	5月	全国学力・学習状況調査自校採点結果の分析	校内研修(調査結果分析)	学習方法周知 家庭学習の定着	家庭学習は定着したが、個人差が見られる	家庭学習の仕方は個別に指導する		
	7月	1人1授業公開 小学校との交流	校内研修(学習過程) 学習アンケートの実施	調査結果を踏まえた全校での授業改善	1人1授業で授業改善の方向性について共通理解を図ることができた	書く能力に課題があるので国語科以外の教科でもノート指導を充実させる		
考えを公表できる場面設定	8月	校内意見発表	夏休み学習会 校内研修(ノート指導)	家庭学習の継続 学力調査の結果を踏まえた全校の授業改善	家庭学習の時間は少しずつ長くなっている	自分で課題を決めて取り組む家庭学習を工夫する必要がある	ノート指導と家庭学習の取組を関連させたことで学習方法が定着しつつある(生徒アンケート結果)	自分の考えを公表する場面は増えたが、発表内容の質の向上が課題である
	9月	授業研究(実物投影機を活用した発表場面の工夫)	校内研究(ICTの活用)	ICTの日常的な活用	教科書を大きく映す、やり方を示すなどの活用は定着してきた	生徒がノートを映しながら説明する場面を設ける		考えを深める発問の工夫が必要である
	12月	取組の反省	放課後学習の評価 冬休み学習会	成果と課題の可視化 改善計画の作成				

<ポイント>

- ・重点目標に基づく月毎の実践項目（短期目標）と学期毎の中期目標を設定し、学力向上の取組の質の向上を図ることを通して、教員のマネジメント力を高めています。

道内の市町村、学校、家庭や地域の取組事例 <学校経営>

<取組のキーワード>

- ・全国学力・学習状況調査やチャレンジテストを活用した検証改善サイクルの確立

【学力向上プログラム】

年度	平成28年度								平成29年度
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	3月	4月
教務係	家庭学習の手引 自主学習メニュー表		漢字検定				生活リズム チェックシート 活用		
	朝学習時間の 確保	児童アンケート			児童アンケート				
全国学力・ 学習状況調査	実施、 自己採点 分析				結果公表(国)		結果公表(道) 分析と課題解 決の取組		実施、 自己採点 分析
チャレンジ テスト	前年度 サポート問題		1学期末問題	夏休み版	1学期 サポート問題				前年度 サポート問題
学力向上係	朝学習・家庭学習の習慣化に向けた取組								
	習熟度別指導								
	放課後補充学習								
研究推進係	研究部による 提案事業	日常実践							
			授業研究 (ICT活用)		授業研究 (板書)	授業公開週間			

<ポイント>

- ・学力向上に関わる取組について、担当する分掌ごとに年間のスケジュールを明確にしています。
- ・全国学力・学習状況調査やチャレンジテストの活用を計画的に位置付けています。